

取扱説明書

HITACHI

HI-R01HK 電話機

(技術基準適合品)

このたびはお買い求めいただき、ありがとうございました。
取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
この「説明書」には、操作方法とあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、
本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになった後も、本商品のそばなど
いつもお手元においてお使いください。

特	長
---	---

機能名	機能説明
オン／オフフック	磁力を利用して電話機の中で切り替えます。従来の電話機の様な外側のスイッチはありません。
ダイヤル	ダイヤルはプッシュ式でダイヤル回線、プッシュ回線のいずれにも使用できます。
シグナルチェンジ機能	ダイヤル回線でも、プッシュ信号による各種サービスが受けられます。
着信音	軽やかな電子音で２段階の音量に切り替えられます。
ハンドセット受話音量	受話音量を２段階に調節することができます。
フッキング機能	フッキングで転送できるPBX内線に使用する場合、転送が容易です。

本製品を輸出される場合には外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

F-6602-1
923602A1

仕

様

項 目	仕 様	備 考
回線種別	PB／DP(20PPS)切替式	
直流抵抗	約 280Ω	
質 量	約 0.4kg	
寸 法	幅 46mm×高さ 49mm×奥行 200mm	
使用電源	局/PBX	
環境条件	周囲温度 0℃～40℃ 相対湿度 20%～85%(結露のないこと)	

☆次のものがそろっているか確かめてください。

品 名	数 量	備 考
取扱説明書	1部	本説明書
電話機コード	1本	

工事される方へ

- ハンドセットのスイッチカバー内にある各種機能の切替スイッチをご使用条件に合わせて設定してください。
- 電話回線に初めて接続した時は内部回路を安定させる為に必ずハンドセットを一度上げて発信音を確認してください。
- ボタン電話回線に誤接続すると電話機が故障する場合があります。
- 電話機コードは、クレードル底面にあるコード溝に通してご使用ください。
- 受話器コードはこの電話機専用となります。他の商品の受話器コードやハンドセットに付け替えたりしないでください。また電話機コードも付属のコードを使用してください。
- PBXに接続して、メッセージランプ機能をご使用になる場合は、電話機コードの極性をL1(+)、L2(-)としてください。

HITACHI

各

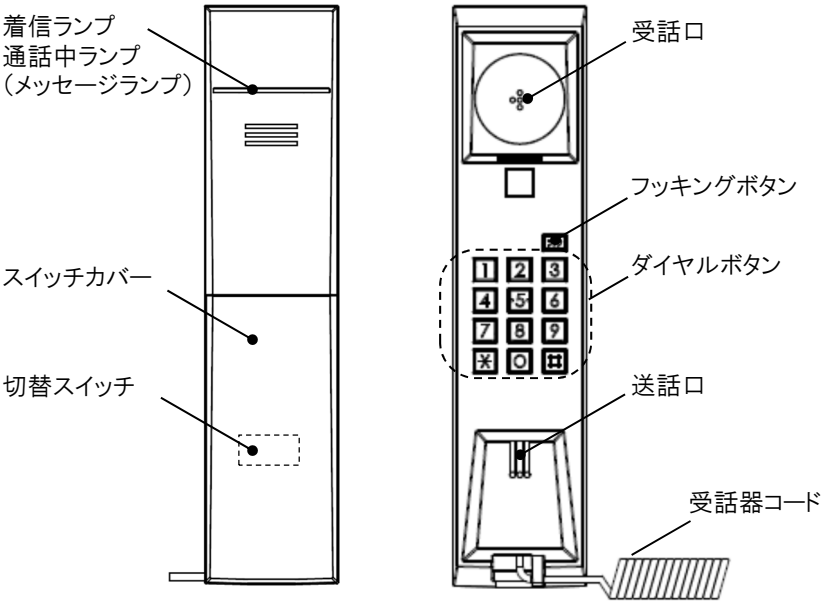
部

の

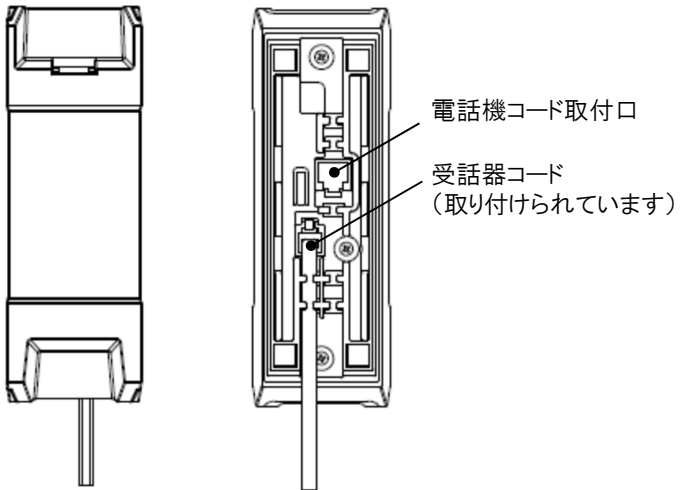
名

称

【ハンドセット】



【クレードル】



使いかた

電話をかけるとき

ハンドセットをとり“ツー”という発信音を聞いてから、相手の方の電話番号をダイヤルします。相手が出たら、お話しください。

シグナルチェンジのしかた

ダイヤル信号(DP)でお使いの時に、“*”ボタンを押すと、ダイヤル信号からプッシュ信号に変わりますので、プッシュ信号による各種サービスが受けられて便利です。
ハンドセットを置くと自動的にダイヤル信号にもどります。(プッシュ回線をお使いのときは、上記操作は不要です。)

電話がかかってきたとき

外から電話がかかってくると“ルルル……”という着信音が聞こえます。ハンドセットをとってお話しください。

フッキングボタンの使いかた

フッキングボタンを押すと(押ししている時間に関係なく)、約 600mS 間だけフッキング信号を送出します。
転送機能等をフッキングで行う PBX の内線電話機として使いますと、確実なフッキングができるので便利です。

電話を切るとき

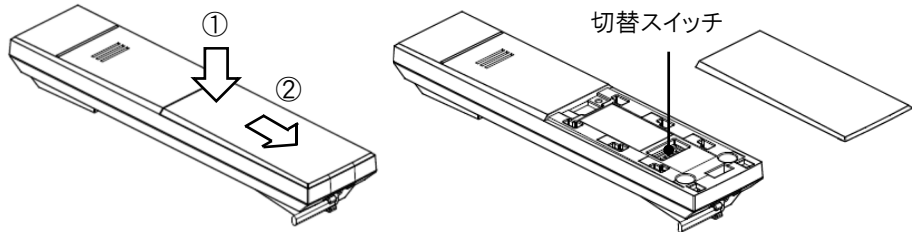
ハンドセットをクレードルに置いてください。

各種機能の設定

ハンドセットのスイッチカバーを開けると各種機能の切替スイッチがあります。ご使用の条件にあわせて設定してください。

スイッチカバーの開け方

[①矢印]部分を押しながら[②矢印]方向へスライドさせます。

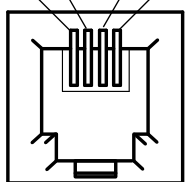


切替スイッチ対応表
(スイッチカバーの裏面にもあります)

1	2	3	4	5	6
受話 VOL	PBX CO	DP PB	着信 感度	着信 VOL	ML
大 ↑ 小 ↓	PBX CO	DP PB	ON OFF	大 小	ON OFF

6.メッセージランプ切替スイッチ
(出荷時は“OFF”側)
PBXに接続して、メッセージランプ機能を使う場合は、“ON”側に切り替えてください。また、電話機コードの極性を L1(+)、L2(-)としてください。

L2(-) L1(+)
未使用 未使用



【電話機コード取付口】

1.受話音量切替スイッチ
(出荷時は“小”側)

受話音量を大きくしたい場合は“大”側に切り替えてください。

2.PBX/CO 切替スイッチ
(出荷時は“CO”側)

PBX(構内交換機)により、側音が大きくなることがあります。測音を小さくしたい場合は“PBX”側に切り替えてください。

3.DP/PB 切替スイッチ
(出荷時は“PB”側)

ダイヤル回線の場合は“DP”側に切り替えてください。

4.着信感度切替スイッチ
(出荷時は“OFF”側)

ブランチ接続された電話機や、この電話機をダイヤルして、この電話機のベルが鳴る場合は、“ON”側に切り替えてください。

5.着信 VOL 切替スイッチ
(出荷時は“小”側)

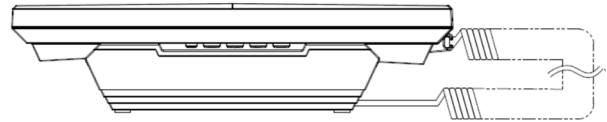
着信音量を大きくしたい場合は“大”側に切り替えてください。

使用上の注意

•共同電話・公衆電話にはご使用になれません。

•ダイヤルしたとき、ブランチ接続した他の電話機のベル音が鳴ったり、着信ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。

•通話しないときは、ハンドセットがクレードルの溝に合うように正しい向きで確実に置いてください。



かけ忘れしたり、ハンドセットの下にコードや物がはさまっていると、通話料金が加算されたり、着信があってもベルが鳴らず、他の通話のさまたげとなることがあります。

•本電話機と他の電話機とでブランチ通話のときは、電話機の種類や電話局からの距離によって通話ができなくなることがあります。その際は片方のハンドセットをおろしてください。通話ができるようになります。

•本電話機内には磁石があります。クリップや安全ピンなど小さな金属類を引きよせるため近くに置かないでください。また、磁力を帯びている物から遠ざけてご使用ください。

•本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済障害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますのであらかじめご了承ください。

•この取扱説明書の内容、機能および外観について予告なしに変更することがあります。

•本書の内容を無断で転載・複製することは禁止されています。

電話機コードの接続

電話機コードのコネクタを取付口に“カチツ”と音がするまで確実に差し込んでください。電話機コードは受話器コードと同じ方向または別の方向のどちらからでも配線することができます。電話機コードは、クレードル底面にあるコード溝に通してご使用ください。

受話器コードと電話機コードを
同じ方向から出す場合

受話器コードと電話機コードを
別々の方向から出す場合

